

柵の木からの手紙

2022年 霜月 11月号



10月 26日 昼 ☀️ 霜の朝 ❄️



- 7日： 立冬
8日： 満月 旧 10月 15日
皆既月食 最大食20時頃
始まり18時頃 終わり9時半頃
22日： 小雪
24日： 新月 旧 11月 1日

2022年秋、2回目のエン麦越冬栽培

1回目のこの春の状況を見ると作業上で何の支障も無く土の状態も顆粒状になっている気がする。

秋播き小麦を栽培した一般圃場は、小麦の収穫後緑肥としてエン麦を栽培して9月末頃には種を

持つため細断処理して畑にすき込みます。(左上写真、中央看板の左)

一方、自然の畑では、芋の収穫後9月中旬にエン麦を播種。今回は、ブロカスでなくライムソーを使用している為、境目のエン



ン麦がきっちりと播けています。

一般の秋播き小麦収穫後のエン麦播種。 普通の栽培では、9月末から10月初めにはすき込まれて春まで土が露出している。エン麦を2回播くと経費が倍になる。

秋播き小麦収穫後（8月初め）、表面処理、堆肥散布をして9月中旬まで作業をしない。その後エン麦を播種して越冬して春にすき込む。当農場では、秋播き小麦の次は、ビートになりますので肥料高騰の折、またカーボンニュートラルの対応としてこんな方法も、やってみる価値があるかもしれません。 来年の課題の一つにしてみるか！？